

令和4事業年度の評価結果一覧

(1) 全体評価 「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

(2) 項目別評価

大項目1 府民サービスに係る技術支援の実施及び知見の提供		評価		数値目標 (定量評価)	
		法人	知事	目 標	実 績
		A			
第1 府民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置					
1 技術支援の実施及び知見の提供等					
小項目1 事業者に対する技術支援					
細目1	① 事業者に対する技術支援	IV	IV	定性	
2	a 今年度の重点的な取組	IV	/		
3	b 受託研究の実施【数値目標1】	IV		1 受託研究の実施件数：20件以上	25 (達成率125%)
4	【数値目標2】	V		2 受託研究に対する利用者の総合評価の平均値：4以上 (5段階評価)	平均4.8
5	c 製品化・商品化やそのPRに係る支援	III		定性	
6	d 事業者団体等への支援	III		定性	
7	e 技術相談への対応等【数値目標3】	IV		3 事業者からの技術相談対応件数：450件以上	523件 (達成率116%)
7	f その他の技術支援	III		定性	
i 簡易受託研究・共同研究の実施 ii 依頼試験の実施と試験機器・施設の提供					
2 事業者に対する知見の提供					
8	② 事業者に対する知見の提供	IV	IV	定性	
9	【数値目標4】	III	/		
10	【数値目標5】	IV		4 事業者への情報発信回数：700回以上	840件 (達成率120%)
5	5 事業者向け研修会などへの講師派遣件数：55件以上	IV		71件 (達成率129%)	
3 緊急時への対応と予見的な備え					
11	① 緊急時への対応と予見的な備え	III	III	定性	
12	a 環境保全分野への対応	III	/	定性	
13	b 農林・野生動物分野への対応	III		定性	
13	c 水産・水生生物分野への対応	III		定性	
4 行政課題に対する技術支援・行政に関する知見の提供					
14	② 行政課題に対する技術支援	III	III		
15	a 行政依頼事項に係る調査研究【数値目標6】	IV	/	6 行政依頼事項に係る調査研究課題に対する大阪府からの総合評価の平均値：3以上 (4段階評価)	平均3.44
16	b その他の技術支援 i 技術相談・現地技術指導への対応等	III		定性	
17	ii 依頼検体等の分析	III		定性	
18	iii 気候変動適応への支援	III		定性	
19	iv 森林整備への支援	IV		定性	
20	v 生物多様性地域戦略への支援	III		定性	
21	vi 生活環境保全条例施行への支援	III		定性	
22	vii 上記以外に大阪府等が必要とする技術支援	III	定性		
③ 行政に関する知見の提供					
5 農業大学校の運営を通じた多様な担い手の育成					
23	④ 農業大学校の運営を通じた多様な担い手の育成	III	III	定性	
24	a 養成科の運営 (重点9)	III	/	7 農業大学校養成科卒業生のうち就農就職希望の農業関係就職率を中期目標期間中の平均で95%以上	就職希望14名のうち農業関係への就職率は14名 (100%) なお就農者数は14名中8名 (57%)
25	【数値目標7】	IV		定性	
25	b 短期プロ農家養成コースの運営	III		定性	
6 地域社会への貢献					
26	① 地域社会に対する技術支援	III	III	定性	
27	a 生物多様性センターを中心とした環境及び生物多様性の保全などに係る地域社会の取組への支援	IV	/	定性	
28	b 支援学校等の教職員向けの「ハートフル農業講座」の開講 (重点10)	III		定性	
29	c その他の研究所が有する資源の活用	III		定性	
30	i 講師派遣、視察見学・研修の受入	III		定性	
31	ii 研究所が有する技術・機材・施設等の資源の活用	III		定性	
32	【数値目標8】	IV		8 地域社会への貢献活動の実施件数：140件以上	156件 (達成率111%)
32	② 府民への広報活動	III	/	定性	
32	【数値目標9】	V		9 報道資料の提供件数：40件以上	61件 (達成率153%)

大項目2 調査研究の効果的な推進		A			
第1 府民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置					
2 調査研究の効果的な推進					
小項目7 技術ニーズの把握と知見の集積、協働の推進					
細目33	① 多様な情報の収集と知見の集積	III	III	定性	
34	② 他の研究機関などとの協働	III		定性	
35	③ 大阪のブドウ産業振興のための協働	IV		定性	
8 調査研究の推進					
① 調査研究の推進					
36	a 重点調査研究課題 (重点1) 大阪の現状・課題をふまえた気候変動適応の研究と情報発信	IV	IV	定性	
37	(重点2) 生物多様性のめぐみ人を人が持続的に享受するための生物多様性の保全と利活用に関する研究と情報発信	IV		定性	
38	(重点3) 都市農業の更なる生産性向上を可能とする大阪発スマート農業の実現に向けた技術開発	III		定性	
39	(重点4) 食品産業との連携強化によるバリューチェーン全体を高度化する食品加工・評価技術の開発	IV		定性	
40	(重点5) 大阪湾の水産資源の管理高度化と水産業の成長産業化のための新たな資源調査手法と増殖技術の開発	III		定性	
41	(重点6) 食資源の持続性を支える次世代タンパク質や機能性物質を生む新たな昆虫利用技術の開発	IV		定性	
42	(重点7) 大阪のぶどう産地を盛り上げ拡大させるためのぶどう生産とワイン醸造の技術開発	IV		定性	
43	(重点8) 府民の安全・安心を守るための有害化学物質リスクへの対応技術の確立	IV		定性	
44	b 基盤調査研究課題	III		定性	
9 調査研究資金の確保・調査研究の評価					
② 調査研究資金の確保					
45	a 外部資金の募集情報の収集と申請書の推敲及び応募者の実績確保の支援	IV	IV	定性	
46	【数値目標10】	IV			10 競争的外部研究資金による調査研究課題の実施及び応募件数：80件以上 実施件数42件+新たに応募した件数55件=97件（達成率121%）
47	b 調査研究課題への外部有識者からの指導・助言	III		定性	
48	c 他の研究機関とのネットワーク構築	III		定性	
49	③ 調査研究の評価【数値目標11】	IV			11 競争的外部研究資金による調査研究課題に対する外部有識者からの総合評価（中間・事後）の平均値：3以上（4段階評価） 中間評価3件+事後評価3件の総合評価の平均値3.2
10 調査研究成果の利活用					
50	① 調査研究成果の普及	IV	IV	定性	
51	【数値目標12】	III			12 学術論文や学会等での発表の件数：120件以上 学術論文26件+学会等での発表98件=124件（達成率103%）
52	② 知的財産権の取得・活用	IV		定性	
大項目3 業務運営、組織運営、財務内容などの改善と効率化		A			
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置					
小項目11 自律的な組織・業務運営					
細目53	(1) 自律的な組織・業務運営	III	III	定性	
12 優秀な職員の確保					
54	(2) 優秀な職員の確保	III	III	定性	
13 職員の育成					
55	(3) 職員の育成 ① 研修の実施等	III	III	定性	
56	② 人事評価制度の運用・職員へのインセンティブの付与	III		定性	
57	③ 職員の育成のための職場環境の整備	III		定性	
14 業務の効率化					
58	2 業務の効率化	III	III	定性	
15 施設及び設備機器の整備					
59	3 施設及び設備機器の整備	III	III	定性	
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置					
16 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置					
60	第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	III	III	定性	
第4 予算（人件費の見積もりを含む。）収支計画及び資金計画					
第5 短期借入金の限度額					
第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画					
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画					
第8 剰余金の使途					
第9 その他業務運営に関する事項					
17 法令の遵守・労働安全衛生管理・環境に配慮した業務運営					
61	1 法令の遵守	III	III	定性	
62	2 労働安全衛生管理	III		定性	
63	3 環境に配慮した業務運営	III		定性	